

**マタニティYOGAを学ぶ人のための
「第2回 学びのYOGA 会宿」
信州ハケ岳**

▶日時

6月4日(土)14:00

6月5日(日)15:00

▶会場

草原屋(長野県茅野市玉川
11400-1356)

▶対象

助産師、マタニティYOGA指導者

▶プログラム

- 「マタニティYOGA」竹村絵実(サラママヨガ)
- 「シヴァナンダYOGA」清澤香織(助産師)
- 「マタニティ&産後YOGA」加藤さよ子(マタニティ・ヨガ講師)
- 「リラックスYOGA」きくちさかえ(出産育児環境研究会)ほか

▶参加費

1万9000円(YOGA, 宿泊, 3食含む)

▶問い合わせ先

出産育児環境研究会

✉nagi10sk@yahoo.co.jp

**第18回日本母性看護学会
学術集会**

▶日程

2016年6月18日(土)

プレングレス: 2016年6月17日(金)

▶会場

石橋文化センター(福岡県久留米市野中町1015)

▶テーマ

母性看護学教育再考～あらためて考えよう! どう教える?! 母性看護学

▶プログラム

- 会長講演「学生を“育てる”母性看護学教育の展開」松原まなみ(聖マリア学院大学大学院看護学研究科教授)
- 教育講演「教えることの基本となるもの～臨床の知としての教育技術の獲得」目黒悟(藤沢市教育文化センター主任研究員)
- 基調講演「“周産期の親子関係形成”の教育について考える」新道幸恵(京都橘大学大学院看護学研究科教授)ほか

▶参加費

- 事前登録(5月13日まで)
会員6000円, 非会員7000円
(両日参加: 会員9000円, 非会員1万円)
- 当日参加
会員7000円, 非会員8000円

▶問い合わせ先

第18回日本母性看護学会学術集会事務局

〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422 聖マリア学院大学看護学部

☎0942-35-7271

☎0942-34-9125

✉boseikango18@st-mary.ac.jp

**第40回JALC母乳育児支援
学習会 in 神戸**

▶日時

6月18日(土)12:45~17:55

6月19日(日)8:50~15:00

▶会場

神戸国際展示場 2号館コンベン

ションホール(兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1)

▶対象

母乳育児を支援する専門家(助産師, 看護師, 保健師, 医師, 歯科医師, 栄養士, 保育士など)。その他, 学生, 母乳育児支援に興味のある方であれば, どなたでも参加いただけます。

▶プログラム

- 「『切れ目のない母乳育児支援』とは」渡邊和香(助産師, IBCLC)
- 「妊娠中の女性への情報提供—適切な情報を知ってもらうために」谷水美和(助産師, IBCLC)
- 「母乳育児の基本となる情報とスキルを学ぶ」黒澤かおり(助産師, IBCLC), 山本和歌子(新生児科医, IBCLC), 菅原光子(助産師, IBCLC)
- 「特別なニーズのある赤ちゃんとお母さんへの支援—NICU退院後の家庭での支援を中心に」武市洋美(助産師, IBCLC), 奥起久子(新生児科医, IBCLC)
- 「母乳育児が自然な世界になるために—母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」楯亜希子(助産師, IBCLC)
- 「災害と乳児栄養」大山牧子(新生児科医, IBCLC)ほか

▶申し込み方法

事前申し込みはJALCの公式サイト <http://jal-net.jp> の「学習会」のページで受け付けています。JALCは授乳中のお子さま連れの参加を歓迎します。有料託児も準備予定です。当日参加も可能ですが, お子さま連れの方は事前申し込みをお願いします。

情報お待ちしています

告知したいイベント、セミナーなど、開催日の約2か月前までに、FAX、郵便、e-mail などでお送りください。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室 FAX 03-5804-0485 ✉ josani@igaku-shoin.co.jp

▶問い合わせ先

NPO 法人日本ラクテーション・コン
サルタント協会

〒981-3133 宮城県仙台市泉区
泉中央 2-17-3 フリード泉中央
203

☎ 022-725-8560

(平日 10:00~15:00)

FAX 022-725-8561

✉ info@jalc-net.jp

日本看護協会 2016 年度 産科管理者交流集会

▶日時・会場

●大阪会場

6月25日(土)10:00~17:00

6月26日(日)9:00~12:00

●名古屋会場

7月30日(土)10:00~17:00

7月31日(日)9:00~12:00

▶定員

各会場 150 人(先着順)

▶参加費

無料

▶プログラム

●「助産師のキャリアパスと
CLOCMiP を活用した人材育
成」

●「CLOCMiP 活用ガイドにおけ
る総合評価について」

ほか

▶申し込み方法

日本看護協会ホームページ「新着
情報一覧」を参照してください。

▶問い合わせ先

日本看護協会 健康政策部助産師
課

✉ josanshi@nurse.or.jp

MFC2016 in 関西

▶日程

6月30日(木)~7月1日(金)

▶会場

大阪南港 ATC ホール(大阪府大阪
市住之江区南港北 2-1-10)

▶プログラム

●【S-1】MFC 特別講座「母体急
変時の初期対応／あなたは本
当にバイタルサインを読めます
か。」橋井康二(日本母体救命シ
ステム普及事業幹事, 京都産婦
人科救急診療研究会幹事長, ハ
シイ産婦人科院長)

●【S-2】MFC 特別講座「妊娠期
におけるフィジカルアセスメン
ト／妊産婦の主体性を引き出す
妊婦健診の在り方」山本詩子
(日本助産師会副会長, 山本助
産院院長, 横浜市助産師会監
事)

ほか

▶参加費

●1DAY チケット 1 万 6200 円

●2DAY チケット 2 万 4300 円

●【S-1】単独チケット 3240 円

●【S-2】単独チケット 3240 円

▶問い合わせ先

日本マタニティフィットネス協会

☎ 03-3725-1103

母乳育児支援学習会 in 高崎

▶日時

7月2日(土)13:00~16:45(開
場 12:00~)

▶会場

高崎市総合福祉センターたまご
ホール(群馬県高崎市末広町 115-

1)

▶対象

母乳育児支援に関心のある方なら
どなたでも

▶プログラム

●「母乳だけで体重が増えない赤
ちゃんへの援助」山口直人(小
児科医師, IBCLC)

●「乳頭の傷や痛みをどう予防す
る? ~赤ちゃんが欲しがるときに
欲しがらだけの授乳を支援する
ために~」後藤ひとみ(助産師,
IBCLC)

ほか

▶定員

120 名

▶参加費

●事前申し込み 3000 円

●当日参加 4000 円

▶事前申し込み締切り

6/19(日)

▶継続教育単位

3.25 L-CERPs 発行予定

▶問い合わせ先

母乳育児サポートこでまりの会

☎ <http://goo.gl/es3yXs>

第 16 回日本母子看護学会 学術集会

▶日程

7月9日(土)~7月10日(日)

▶会場

幕張国際研修センター(千葉県千
葉市美浜区ひび野 1-1)

▶テーマ

特別な配慮を必要とする母子への
支援

▶プログラム

●会長講演「慢性透析患者が母親
になるということ」岩崎和代
(京都医療大学ヒューマンケア

学部教授)

- 基調講演「母乳だけで育てなかった女性への支援～コミュニケーション・スキルを使って」本郷寛子(国際認定ラクテーション・コンサルタント)
- シンポジウム「特別な配慮を必要とする母親の母乳育児支援」ほか

▶参加費

- 事前登録(6月3日まで)
会員 5000 円, 非会員 7000 円, 学生(大学院生除く)・一般(医療職外)2000 円
- 当日参加
会員 5000 円, 非会員 1 万円, 学生(大学院生除く)・一般(医療職外)2000 円

▶問い合わせ先

第 16 回日本母子看護学会学術集会事務局(東都医療大学内)

☎ 048-577-8036

✉ bousei@tohto.ac.jp

第 14 回

母乳育児支援を学ぶ東海教室
in 浜松

▶日時

7 月 10 日(日)10:15~16:00

▶会場

浜松アクティシティコンgresセンター 3 階(静岡県浜松市中区板屋町 111-1)

▶プログラム

- 「母乳と薬」瀬尾智子(小児科医, IBCLC)
- 「直接授乳が困難な場合の支援」水井雅子(助産師, 保健師, IBCLC)
- 「卒乳一仕事を始めるお母さんが卒乳を考えたら」楯亜希子

(助産師, 保健師, IBCLC)

▶定員

336 名

▶参加費

- 事前申し込み
5000 円(資料代, 昼食代を含む)
- 当日申し込み
5000 円(資料代を含む)

▶事前申し込み期間

5 月 9 日(月)~6 月 26 日(日)

▶問い合わせ先

母乳育児支援を学ぶ東海教室事務局(ままん助産院内)

✉ tokai@mamanj.net

☎ 0565-77-7295

🌐 <http://mamanj.net/tokai.html>

シンポジウム

産み育てと助産の歴史:
アジアの中の日本

▶日時

7 月 16 日(土)13:00~16:30

▶会場

医学書院(東京都文京区本郷 1-28-23)

▶内容

変わりゆく出産の現場に産婆や助産師はどのように関わってきたのだろうか。助産学, 社会学, 歴史学など多彩な研究者が江戸から現代を語る。

登壇者: 小川景子(東海大学医療短期大学) / 大出春江(大妻女子大学) / 田間泰子(大阪府立大学) / 菊地栄(立教大学) / 鈴井江三子(兵庫医療大学) / 白井千晶(静岡大学)

ほか

▶定員

90 名(先着順)

▶参加費

無料

▶申し込み方法

「こくちーず」(下記 HP)よりお申し込みください。

▶主催

リプロダクション研究会(静岡大学人文社会科学部)

▶問い合わせ先

産み育てと助産の歴史: アジアの中の日本事務局

🌐 <http://kokucheese.com/event/index/394392/>

子育て・母乳育児支援 セミナー

▶日程・テーマ

- 7 月 31 日(日)
第 1 回: 妊娠~出産前から始まる子育て・母乳育児支援
- 8 月 21 日(日)
第 2 回: 母乳育児に関する不安と対処
- 9 月 11 日(日)
第 3 回: 母乳育児に関する不安事項
- 10 月 2 日(日)
第 4 回: 薬と感染症の知識
- 10 月 30 日(日)
第 5 回: 一般的な子育て相談への対応
- 11 月 20 日(日)
第 6 回: 母親がうつ状態になっている場合の対応

▶会場

昭和大学江東豊洲病院 9 階講堂(東京都江東区豊洲 5-1-38)

▶対象

助産師, 看護師, 保健師, 小児科医, そのほか子育て支援にかかわる職種

▶内容

標準的な子育て・母乳育児支援に必要な知識を習得し、母親に合った「引き出し」を提供する。全6回、ワークも取り入れた実践形式の講習会(担当: パースコンシェルジュ 伴照代)

▶参加費

1回 3000円 + 年会費(1回の支払いで1年間有効) 2000円

▶申し込み方法

下記メールアドレスまでお名前、職種、メールアドレス(PCのほうが望ましい)を明記のうえ、ご連絡ください。原則として全6回受講をお願いしておりますが、都合により出られない回があっても構いません。

▶問い合わせ・申し込み先

✉ kotocloabc@yahoo.co.jp

詳細は「水野克己のブログ」にて適宜アップしています。

日本看護研究学会 第42回学術集会

▶日程

8月20日(土)~21日(日)

▶会場

つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2-20-3)

▶テーマ

先端科学と看護イノベーション

▶プログラム

- 会長講演「先端科学と看護イノベーション」川口孝泰(筑波大学医学医療系保健・医療学域教授)
- 特別講演「革新的サイバニックスシステムが拓く医療・看護の未来」山海嘉之(筑波大学システム情報工学研究科教授, サイ

バーダイン社長, ロボットスーツ HAL 開発者)

- 教育講演①「筑波大学発ベンチャー: 訪問看護ステーションの起業」林啓子(らふえる訪問看護ステーション)
- 教育講演②「臨床看護研究におけるコクラン・ライブラリーの活用術」森臨太郎, 大田えりか(国立成育医療研究センター)
- 教育講演③「健康医療サービスにおける看護経営学とは」松下博宣(東京農業大学・東京情報大学看護学部設置準備室教授)ほか

▶参加費

- 事前申し込み(7月8日まで)
会員 1万円, 非会員 1万2000円, 学生 3000円
- 当日申し込み
会員 1万1000円, 非会員 1万4000円, 学生 3000円

▶問い合わせ先

学術集会事務局

〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学医学医療系川口研究室内

✉ jsnr42@md.tsukuba.ac.jp

HP <http://ech.co.jp/jsnr42/>

第3回日本フォレンジック 看護学会学術集会

▶日時

9月3日(土)10:00~4日(日)14:00

▶会場

日本福祉大学東海キャンパス(愛知県東海市大田町川南新田229)

▶テーマ

フォレンジック看護の実践と課題

—非専門職と専門職の連携

▶プログラム

- 大会長講演「フォレンジック看護が支えるもの」長江美代子(日本福祉大学看護学部教授)
- 基調講演「ポジティブな出産経験と暴力のない次世代について(仮)」デボラ・パスカリ・ボナロ(ドゥーラトレーナー, チャイルドバースエドゥケーター)
- ワークショップ「日本へのドゥーラ導入の検討」ほか

▶参加費

- 事前申し込み(7月31日まで)
会員 8000円, 学生 4000円, 一般 9000円
- 当日参加
会員 1万円, 学生 5000円, 一般 1万1000円

▶問い合わせ先

学会事務局

〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見4669-2 茨城県立医療大学内

☎ 029-840-2181